

県民だより あおもり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
引き続き、**基本的な感染防止対策を徹底し、**
体調が悪い場合は **出勤・登校・外出などを控えましょう**



もっと元気なあおもりへ。
チャレンジを
全力サポート!



COVER PEOPLE

あおもり女性創業サポーターズ
「あおもりフルール」のみなさん

CONTENTS / 目次

P2 **特集** 青森の経済を元気に!
一緒にチャレンジしていきましょう!

P6 **連載** CAFE AOMORI

P6 **ミニ特集** ①自分らしく、はたらく。あおもりで。
②やってみよう! 手話であいさつ

P7 **連載** 『地域県民局』ZOOM UP! 「上北地域」

P7 **連載** いただきます! あおもりめし「上北レシピ」

P8 **連載** 申吾のほっとコラム

P8 **お知らせ** あおもりインフォメーション

バラ焼き



今回は
上北レシピ!

ほっき貝の
炊き込み
ご飯



青森の経済を元気に!

一緒にチャレンジして

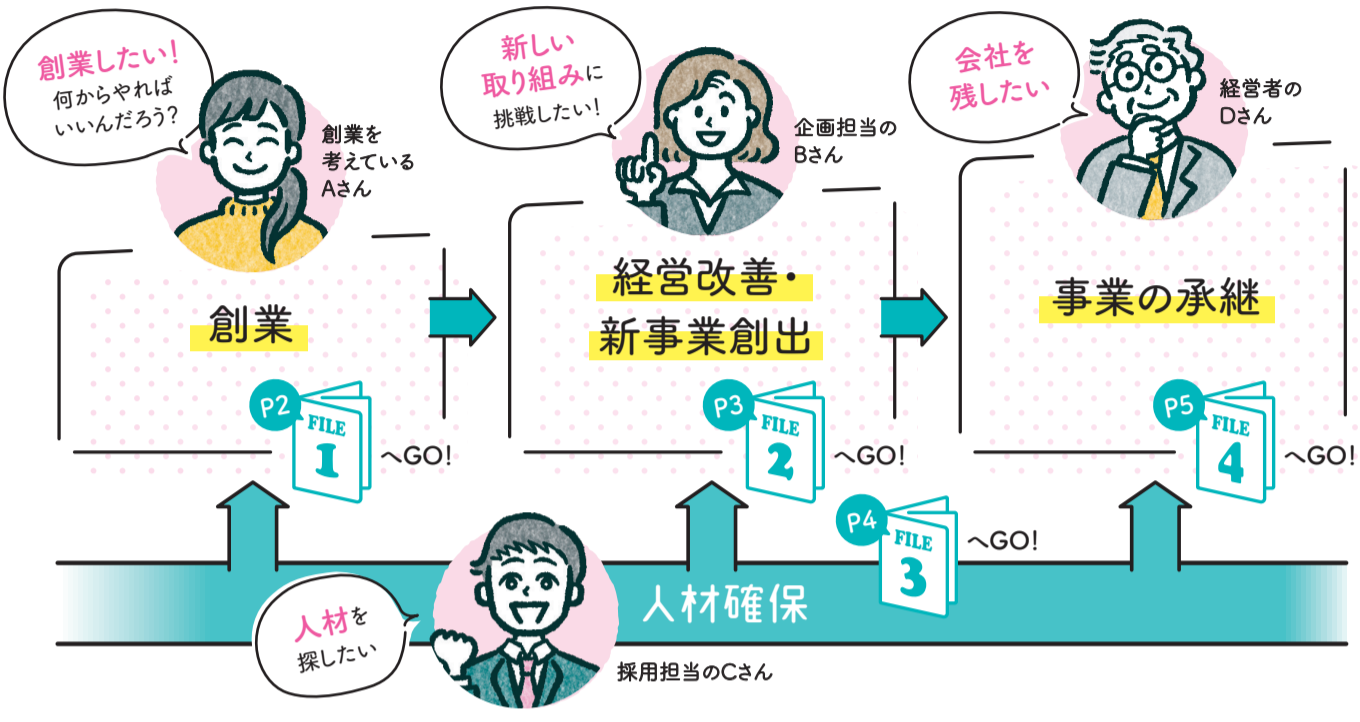
いきましよう!



青森の経済を担う事業者の皆さんを さまざまな取り組みで支援しています!

県では、魅力ある多様なしごとが生まれ、それが地域を支える存在に成長し、次の世代にうまく引き継がれることによって、地域の産業や経済が持続的に発展できるよう、それぞれのステージに合わせたさまざまな支援を行っています。

創業から承継まで事業の「ステージ別」に支援!

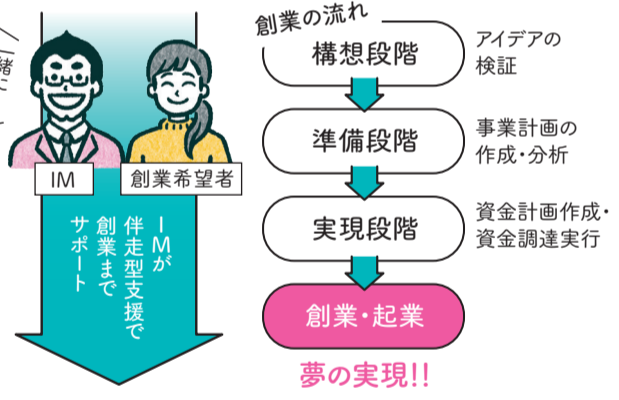


創業したい方を応援! 創業支援

県内で新しく事業を始めたい方を応援するため、事業の構想段階から実際に創業するまで、専門家によるきめ細かな支援などを行っています。

インキュベーション・マネージャー(IM)が伴走型で支援します!

IMとは、創業・起業を考えている方に対し、事業の構想・企画の段階から創業・起業に至るまで一貫した支援を行う専門家です。創業希望者に寄り添い、夢を叶えるパートナーとして豊富な知識と経験で支援します。



Interview/1 「創業支援制度」を活用しました

親身なアドバイスを受けて Uターン創業を実現!



まちの茶屋 しゃべるばあ〜 (八戸市) やえくら 幸子さん

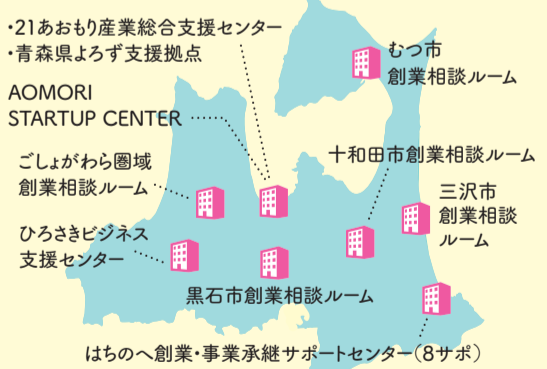
定年退職をきっかけに「八戸にUターンして高齢の母のそばで過ごそう」と思い、有楽町の「青森暮らしサポートセンター」を訪ね、その後「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」のスタッフに相談に乗っていただきました。当初は山遊びの施設運営を考えていましたが、「大手食品メーカーで商品開発に携わってきた経験を生かした方がよい」とアドバイスをいただき、飲食・惣菜業での創業を決意。

私の担当IMは「母を支えるため実家の近くで創業したい」という私の希望をしっかりと受け止め、事業計画の立て方から親身になってサポートしてくれました。また、経理やマーケティング、開業に当たっての手続きや届け出といった細かな部分までケアしてもらって、相談して本当に良かったと思っています。



創業支援制度を活用しよう!

●県内10か所の創業支援拠点



県内各地域の支援拠点で、創業・起業に興味・関心のある方や具体的に検討している方、まだ構想段階という方などを専門家がサポートします。相談は無料です。

詳しくは県庁HP [創業支援拠点](#)

●あおりUIターン創業相談会in東京

関東圏にお住まいで、青森でのUIターン創業を考えている方を支援する相談会を開催しています。県内の創業・起業のプロであるIMがご相談をお受けします。

詳しくは県庁HP [UIターン創業相談会](#)

●創業・起業座談会&支援制度説明会

創業・起業に関する専門家のアドバイスや先輩起業家の体験談を聞くことができる座談会と、支援制度について詳しく知ることができる説明会を開催しています。参加無料、オンライン参加も可能です。

詳しくは県庁HP [創業座談会 説明会](#)

詳しくは県庁HP [創業事例](#) 地域産業課 ☎017-734-9374

新しい取り組みに挑戦! 経営改善・新事業創出



デジタル化・DX※で経営革新!

県内事業者のデジタル化を推進し、地域や事業者が抱える課題の解決と新商品・新サービスの開発、生産性の向上やDXにつなげるためのさまざまな取り組みを進めています。

※「DX(デジタルトランスフォーメーション)」とは、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること(単なるホームページの作成や会議のオンライン化などのデジタル化を意味するものではありません)。

「スマートものづくり」で課題解決!

●「スマートものづくり」とは?

ものづくり企業がロボットやAI、IoTなどの先端技術を活用して生産性や付加価値などを高める取り組みのことです。企業が今抱えている課題を解決できる可能性を秘めています。

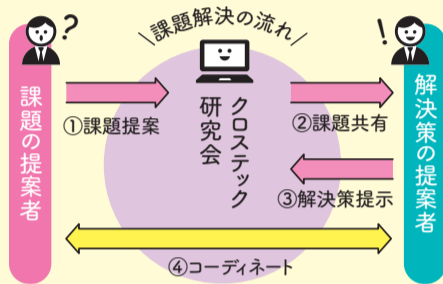


詳しくは県庁HP
スマートものづくり 検索
地域産業課 ☎017-734-9373

産学官の連携でDXを推進!

クロスステック研究会マッチングサイト

県内事業者のDXの推進を図るため、産学官(大学・支援機関・IT企業など)が一体となり、事業者の方々の課題をデジタル技術で解決します。課題の提案者と解決策の提案者をウェブ上でマッチングし、課題の解決をサポートします。お悩みを抱えている事業者の方は、お気軽にお問い合わせください。



詳しくは県庁HP
クロスステック研究会 検索
新産業創造課 ☎017-734-9418



当社ではこれまで、出荷に間に合わせるために別部門から人員を

生産性が劇的に向上しました。

集めて商品製造を行っていましたが、会社の人手不足が深刻になる前に生産効率を高める必要があると考え、先端設備を導入したいと思い、「スマートものづくり促進事業費補助金」の申請をしました。

補助金を活用してコンピュータスケールとパレットリフト、2軸式振り分けロボットを導入したことで、生産スピードが大幅に向上した上に、省人化にも成功しています。今後もさらなる生産性の向上を目指して、取り組みを進めていきたいです。



Interview 2 「スマートものづくり促進事業費補助金」を活用しました

価値を高める再利用「アップサイクル」

本県由来の未利用資源を活用したアップサイクルビジネスの創出を図るため、県内事業者のマッチングや専門家の派遣など、さまざまな取り組みを進めています。

●「アップサイクル」とは?

果実の搾りかすやホタテの貝殻など、本来であれば不要とされる廃棄物などに、デザインやアイデアにより新たな付加価値を持たせ、より価値の高いものとして生まれ変わらせることを言います。サステナブル(持続可能)なものづくりとして新たな市場の拡大が期待されています。



果実の搾りかす・皮・芯、酒かす、ホタテの貝殻など

事例紹介

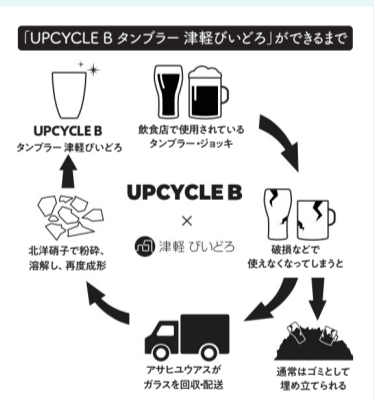
「UPCYCLE B タンブラー 津軽びいどろ」

北洋硝子株式会社(青森県)×アサヒユアス株式会社(東京都)



青森の伝統工芸「津軽びいどろ」を手掛ける北洋硝子株式会社とアサヒユアス株式会社が共創し、従来は廃棄されていた飲食店の破損ジョッキなどをハンドメイドタンブラーとしてアップサイクルしています。環境負荷低減と地域産業活性化を目指した取り組みです。

画像提供:アサヒユアス株式会社



青森県アップサイクルフォーラム



会員企業募集中!

会員は、アップサイクルビジネスに関するセミナーなどの情報をいち早く知ることができるほか、会員同士のつながりができるなど、さまざまなメリットがあります。入会は無料です。お気軽にお問い合わせください。

詳しくは県庁HP
アップサイクル 検索
新産業創造課 ☎017-734-9420

青森県×神戸市 ビジネス交流を促進!



詳しくは県庁HP
神戸 ビジネス交流 検索
地域産業課 ☎017-734-9375

●青森-神戸線から広がる新たなビジネスチャンス

フジドリームエアラインズ(FDA)の青森-神戸線が令和2年3月に就航。これにより神戸との交流人口が増加し、ビジネス面でも相互交流が行われ、新たなビジネスチャンスが拡大しています。



●ワークショップを通じてマッチング

青森と神戸の企業間のビジネス交流を促進するため、双方の地域の特徴や企業ニーズなどを共有するワークショップを開催し、企業間マッチングや商工団体の交流に取り組んでいます。今後も、空路の利便性を活用した経済交流を促進していきます。



弘前市でのワークショップ

●青森・神戸双方で交流イベントを開催

青森と神戸それぞれで、双方の魅力をPRし、特産品を販売する交流イベントを開催。お互いの認知度アップを図りました。



三村知事と久元神戸市長によるトークセッション

事業にマッチした人材探しをお手伝い! 人材確保



「新しい社員を雇いたいけれどなかなか応募が来ない」、「企業課題解決のために専門知識とキャリアのある人を雇いたい」などの人材確保に関する悩みを持つ事業者の課題解決を支援しています。

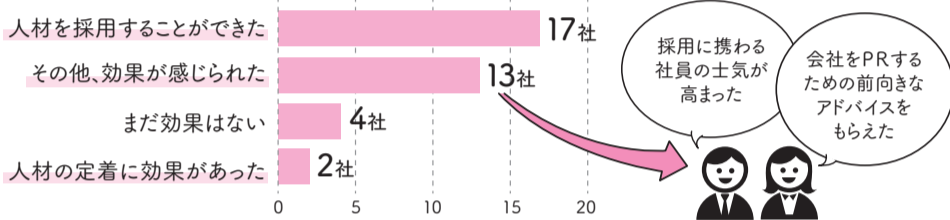
「あおり人材確保推進センター」が 人材確保の課題を解決!

キャリアコンサルタントの資格を持つ人材確保推進コーディネーターや、豊富な経験とノウハウを持つ企業訪問アドバイザーが、事業者が抱える人材確保のさまざまな悩みに親身になって対応します。

●こんな悩みを一緒に解決!

求人を出しても応募や問い合わせがない	企業PRの方法が分からない
人材確保に関する支援制度を知りたい	人材を定着させたい など

●利用した事業者の声 専門家から受けたアドバイスを参考に取組んでどんな効果がありましたか?



出典:人材確保支援事業専門家派遣利用企業アンケート
※令和2年度・令和3年度に専門家派遣を利用した31社中、27社が回答(複数回答あり)

●中小企業若手人材確保・定着支援事業費補助金

県内中小企業等が若手人材確保や定着力の向上を図るために行う事業に要する経費の一部を補助します。

詳しくは県庁HP
若手人材確保 補助金 検索

お気軽にご相談ください!

あおり人材確保推進センター
【ところ】青森市安方1-1-40
青森県観光物産館アスパム7階
【受付時間】8:30~17:15 【問い合わせ】☎017-775-7075

詳しくは
あおり人材確保推進センター 検索

Interview/3 コーディネーターとして人材確保のアドバイスをしています

人材確保のお困りごとを解決します!



採用・人事
コンサルタント(東北町)
おがさわら さきえ
小笠原 咲絵さん

あおり人材確保推進センターでは、採用などの人材確保に関するさまざまなご相談を随時受け付けています。対面相談、ビデオ

通話によるオンライン相談、電話相談が可能です。また、相談内容に応じた専門家派遣もあり、首都圏の人材業界や求人広告の総合代理店などを経験している採用コンサルタントや大手企業での経験がある人事・業務コンサルタント、特定社会保険労務士、経営コンサルタントなどの専門家が親身にヒアリングし、的確なアドバイスをしています。

センターに寄せられるご相談は、「先代の経営者が急逝して、会社の立て直しを図っているが、採用をどうしたらいいか道筋が立たない」、「コロナ前より採用環境が悪化し、求人への応募数が減ってしまった」、「採用した社員が自社のカラーとマッチせずトラブルになってしまった。今後採用のミスマッチを防ぐにはどうすればよいか」、「自社の採用活動に足りないものは何か、客観的な意見が欲しい」など、多岐にわたります。そのほか、採用情報サイトの制作や副業・兼業についての相談も受け付けていますので、人材確保に悩みを抱えている方はぜひ一度ご相談ください。

「プロフェッショナル人材」の力で県内企業を元気に!

人材不足が深刻化する中小企業は、新規事業の立ち上げや新商品の開発、生産性の向上など、専門知識や課題解決力を持ったプロフェッショナル人材の力を必要としています。そこで県では、関係機関と連携し、企業のニーズを民間人材ビジネス事業者等へつなぐことで、プロフェッショナル人材とのマッチングをサポートしています。

●「プロフェッショナル人材(プロ人材)」とは?

長年培ったキャリアを生かし、職場のリーダーとして企業マネジメントに携わったり、管理職やリーダークラスとして経営者の右腕となり、企業のさまざまな成長戦略を具現化していく人材のこと。

●こんな経営課題を解決!

販路開拓	生産性向上	新事業展開	デジタル化促進 など
------	-------	-------	---------------

●プロフェッショナル人材誘致促進事業費補助金

県内の中小企業等の皆さんが経営革新や新事業展開等に取り組むために、外部のプロ人材を採用する場合に必要な人材紹介手数料の一部や、副業・兼業人材として活用する場合の交通費・宿泊費を補助します。

詳しくは県庁HP
プロフェッショナル人材 補助金 検索

お気軽にご相談ください!

青森県プロフェッショナル人材戦略拠点(プロ拠点)
【ところ】青森市安方1-1-40
青森県観光物産館アスパム7階
【受付時間】9:00~17:00
【問い合わせ】☎017-735-6550

詳しくは
青森県プロフェッショナル人材 検索

Interview/4 「青森県プロフェッショナル人材戦略拠点(プロ拠点)」を活用しました

次世代の技術者に
仕事の楽しさ伝えたい。

現場監督業務のほか、社内では、これまでに得た自身の経験を生かし、技術やコミュニケーションの取り方のコツを、部下や後輩に勉強会などで指導・アドバイスしています。近年、現場監督や職人の人手不足が問題になっていますが、この仕事の楽しさを伝えることで、次世代の技術者の育成に取り組んでいきます。



なつぼり たいが
夏堀 大河さん



代表取締役社長
きん だいち みつり
金田一 光徳さん

期待以上の人材を
採用できました!

現場監督者を探していた際にプロ拠点のことで知り、現場監督も若手社員の指導もできる人材を採用したいという欲張りな考えを相談させていただきました。その結果、多くのプロ人材の紹介を受け、最終的には期待以上の人材を採用することができました。また本人にも企業にもありがたい補助金も利用でき、うれしい限りです。

安心して事業を引き継ぐために 事業承継支援



県内中小企業経営者の高齢化が進み、団塊世代経営者の引退が目前に迫っています。そこで企業の後継者へのバトンタッチが円滑に行われるよう、事業承継の呼びかけや相談対応などの支援を行っています。

なぜ事業承継の準備が必要?

事業承継は“現経営者から後継者へ事業のバトンタッチ”を行うことですが、単に経営者の名前を変えるだけではありません。企業がこれまで培ってきたさまざまな財産(人・モノ・金・知的財産)を引き継ぐことであり、承継後の経営を安定させるためには、早めの準備と計画的な取り組みが重要です。

●中小企業が抱える悩み

- 後継者がいないので廃業を考えている
- 会社を存続させたいが後継者が決まらない
- 技術や従業員を引き継ぐ先を探したい
- 事業承継に必要な手続きは? など



事業承継には
5~10年ほどかかります!

経営者の高齢化
・平均年齢 **60.3歳**
・引退予想年齢 **70歳前後**

いつかやろうと先送りにしていると…/

- 承継前に現経営者が亡くなってしまい、相続により資産が分散する可能性
- 後継者の選定に時間をかけられない



今から準備しましょう!

事業承継2つのケース

早めに準備した場合と、準備しない場合とでは後々次のような差が発生します。

【ケース①】早めに準備した Eさんの場合



【ケース②】準備しなかった Fさんの場合



有限会社 遠田酒店(十和田市)
えんた けいすけ 遠田 圭佑さん

もともとは保育士として働いていましたが、ゆくゆくは家業の酒店を父親から継ぐものと漠然と考えていました。県主催の事業承継セミナーを受けたことがきっかけとなり、本格的に事業承継を考え出したタイミングで支援を受け始めました。

Interview 5 「地域事業承継支援モデル構築事業」を活用しました

最初は支援者に自社の内情を全て打ち明けることに抵抗がありましたが、相談できる相手がいることはやはり安心感につながります。専門知識を持った方に相談することで自分の考えをまとめることもできました。無理に自力で進めてしまつて不安になるよりも、支援を受けて良かったと思っています。

経営スキルを学びながら3~4年かけて店を引き継ぐ予定ですが、その後も父親には相談役として支えてもらいながら事業を拡大していきたいと考えています。



「まずはご相談ください!」

青森県事業承継・引継ぎ支援センター



「会社を存続させたいが後継者が決まらない」「事業承継に必要な手続きを知りたい」など、事業承継に課題を抱える中小企業のあらゆる相談に対応し、秘密厳守で万全のサポートを行っていきます。

【ところ】青森市新町2-4-1 青森県共同ビル7階
21あおり産業総合支援センター内

【問い合わせ】☎017-723-1040



詳しくは

青森県事業承継・引継ぎ支援センター



経験こそが強み
創業・起業希望者の
心よりどころに

「あおりフルール」の活動に
関わった背景は？
三上さん 県から声を掛けてい
ただいたのがきっかけです。私が
創業した頃は今ほど支援制度な
どが整備されておらず、知識も
なくゼロからのスタートでした。

あおり女性創業サポーターズ
「あおりフルール」
みかみ ともこ
三上 友子さん(弘前市在住)
PROFILE
弘前市出身。パソコンスクール勤務を経て、
2005年に人材能力開発やコンサルタント
業務などを担う株式会社I・M・Sを設立。
2020年に県が始めた取り組み「あおり
フルール」のメンバーに任命され、先輩起業家
として創業・起業を希望する女性たちを
サポート。



交流会(オンライン配信あり)での「あおりフルール」の活動の様子。先輩起業家として、創業までの経緯や現在の仕事の内容についての体験談を披露。

三上さん 難局を乗り越えてきたからこそ伝えられることがあり、経営の楽しさも苦労も両方経験しているというのが強みですね。あと、子育て中の女性に寄り添えるというのも、実際に

「活動する上での自分の強みとは？」
三上さん 難局を乗り越えてきたからこそ伝えられることがあり、経営の楽しさも苦労も両方経験しているというのが強みですね。あと、子育て中の女性に寄り添えるというのも、実際に

だからこそ創業・起業を希望される方々の役に立ちたいという気持ちがありましたし、一般的に男性経営者が多い中で、女性経営者が集まって活動する取り組みを県が始めると聞いて、単純にうれしかったというのがあります。メンバーになったことは、女性経営者同士の横のつながりができるきっかけにもなりました。今では仕事の話よりもプライベートの話の方が多し気はしますが(笑)、メンバーとの交流は刺激と癒しになっています。

三上さん 人生は一度きりなので、踏み出してみるのもいいと思います。ただ、創業・起業するのは簡単ですが、事業を継続していくのは難しい。現在のライフステージや自分にとっての理想をしっかりと分析した上で決断することが大事だと思います。

三上さん 人生は一度きりなので、踏み出してみるのもいいと思います。ただ、創業・起業するのは簡単ですが、事業を継続していくのは難しい。現在のライフステージや自分にとっての理想をしっかりと分析した上で決断することが大事だと思います。

経験したからこそだと思えます。
「創業・起業を迷っている方へのアドバイスをお願いします。」
三上さん 人生は一度きりなので、踏み出してみるのもいいと思います。ただ、創業・起業するのは簡単ですが、事業を継続していくのは難しい。現在のライフステージや自分にとっての理想をしっかりと分析した上で決断することが大事だと思います。



ミニ特集1

自分らしく、はたらく。あおもりで。

県では、「らしく、はたらく AOMORI」をキャッチコピーに、県と県内企業など官民が一体となって、新卒者の県内就職促進プロモーションを展開中です。
青森県は自然が豊かで、おいしいものがたくさん！首都圏や全国と比較して、平均通勤時間が短く、その分を自分の時間に使って、プライベートもエンジョイできます。また、認定こども園の数(0~5歳人口1万人当たり)が全国で1位、待機児童もゼロなので、子どもを預けられないかも、という心配も不要。安心して仕事と子育ての両立ができますよ。
現在就職活動中の皆さんも、これから就職活動を迎える皆さんも、自分らしく、安心して働ける青森県での就職を考えてみませんか。



青森県内での就職に役立つツール

青森県公式アプリ
シューカツアオモリ

青森県内の企業情報、就活イベント情報などが満載!ダウンロード無料、個人情報登録は不要で、すぐ利用できます。

あおもりで、働く。
青森県公式就職情報サイト
あおもりジョブ

約770件の求人情報と約1,050社の企業情報を掲載!

「あおもり県内就職促進パートナー企業」

募集中心!
県では、高校生・大学生等の県内就職を促進するため、県とともに県内就職の魅力発信に取り組む企業や団体を募集しています。ぜひ「あおもり県内就職促進パートナー企業」にご登録いただき、「自分らしく働ける」県内就職の魅力と、ともに発信していきましょう!

登録方法など、詳しい内容は県のホームページをチェック

らしく、はたらく

県内就職に関する支援制度・イベントの情報は 青森県 就職支援 検索
労政・能力開発課 ☎017-734-9398

ミニ特集2

やってみよう! 手話であいさつ

県では、言語としての手話についての理解とその習得の促進を図るため、「青森県手話言語条例」を制定し、令和2年7月に施行しました。
「手話」は、手指や体の動き、表情などにより表現される、音声言語とは異なる「言語」です。日常生活や社会生活において、手話を使って生活しているろう者にとっては、筆談や字幕よりも手話を使った方がわかりやすい場合があります。
令和8年に開催される、第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり障スポ」には、ろう者の選手もたくさん来県します。県民の皆さんも、手話にチャレンジしてみましょう!



ありがとう
垂直に置いた左の手のひらを上に上げる



おつかれさま
右の拳で左腕を軽く2回たたく



こんにちは
①人差し指と中指を立てて、額に当てる(「昼」の手話)
②両手の人差し指を向かい合わせ、同時に曲げる(「あいさつ」の手話)

青森県手話講座動画配信中心!

気軽に手話を学べる動画を配信しています。もっと手話を学んでみたい方は、青森県聴覚障害者情報センター YouTubeチャンネルをチェックしてください。

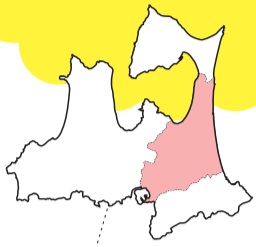
チャンネル登録はこちら

詳しくは 青森県手話言語条例 検索
障害福祉課 ☎017-734-9309

県内6エリアの

ご当地自慢♥

地域県民局 ZOOM UP!



今回のご自慢地域

上北地域



上北地域県民局
地域連携部
さわだ あつき
沢田 篤希

【地域県民局とは?】地域の特性を生かした魅力と活力ある地域づくりのために県内6地域(東青・中南・三八・西北・上北・下北)に設置された、県の総合的な出先機関。それぞれの地元に着目した地域づくりを進めています。

上北エリアと
いえばこれっ! /

体験



©十和田奥入瀬観光機構

奥入瀬渓流水瀑ツアー

白銀の奥入瀬渓流をネイチャーガイドと一緒に巡ってみませんか。ナイトツアーでは、青みを帯びた美しい氷柱と水瀑の群れなどのスポットがライトアップされ、光の色や変化を楽しむことができます。



十和田奥入瀬観光機構
☎0176-24-3006

体験



ブッシュクラフト体験

七戸町の東八甲田家族旅行村で春から提供する予定の新たな自然体験メニュー。インストラクターから火おこしやロープ結びを学んでみませんか?



しちのへ観光協会
☎0176-58-7109

地域連携部の事業・上北のイベント情報はFacebookでチェック!
上北地域県民局地域連携部 ☎0176-22-8194



Facebook
@aomori.kamikita

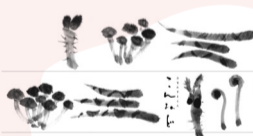
連載第17回

いただきます!

あおもり めし

地域版
上北

地域にちなんだ食材で作るレンピヤ郷土料理をご紹介します!



レシピ監修
自宅れすとらん
「こんみど」
主宰
尾崎 優さん

青森市在住。辻調理師専門学校(大阪市)を経てフランスへ、一つ星レストランで研修し帰国。2012年、自宅れすとらん「こんみど」を開業。地元青森で食べ続けられてきた昔ながらの素朴な郷土料理と家庭料理を中心に提供。



みんな大好き!
青森のソウルフード
バラ焼き

【カロリー】1,124kcal 【塩分】7.9g
【調理時間】約30分

【材料:4人分】

- ・牛バラ肉(スライス)…200g
- ・玉ねぎ…2個
- ・サラダ油…大さじ1
- ・タレ用

- ・りんご…40g
- ・しょうゆ…大さじ3
- ・玉ねぎ…40g
- ・砂糖…大さじ2
- ・にんにく…5g
- ・酢…大さじ1
- ・しょうが…5g
- ・みりん…小さじ2

【作り方】

- ①タレを作る(りんご、玉ねぎ、にんにく、しょうがをすりおろし、しょうゆ、砂糖、酢、みりんを混ぜ合わせる)。
- ②玉ねぎは縦半分に切ってから繊維を断つように1cm幅に切る。フライパンにサラダ油を熱し、中火でじっくりと焼いて甘さを引き出す。
- ③②に牛バラ肉を入れ、さらにじっくりと炒め焼きする。牛肉に火が通ったら①のタレを回し入れ、からめながら炒めれば出来上がり。

ほっき貝の炊き込みご飯

濃厚なだしのうま味がおいしい



【カロリー】1,234kcal 【塩分】6.3g 【調理時間】約40分

【材料:4人分】

- ・お米…2合
- ・ほっき貝…4個
- ※貝殻はお店で外してもらいましょう。
- ・合わせだし
- ・昆布だし…360ml
- ・薄口しょうゆ…小さじ2
- ・酒…小さじ2
- ・みりん…小さじ1
- ・塩…小さじ1/2

【作り方】

- ①お米を洗い、ざるに上げておく。
- ②ほっき貝は内臓を取り除き、身、ヒモ、貝柱に分けてきれいに洗う。身は2枚に開いてから、さらに半分に切る。ヒモは食べやすい長さに切る。
- ③鍋で合わせだしを沸かし、②のほっき貝を入れてひと煮立ちさせたら火を止める。ざるなどでだし汁とほっき貝を分け、さらにほっき貝を身とそれ以外に分けておく。
- ④炊飯器にお米とだし汁を入れ、ヒモと貝柱をのせて炊く。炊き上がったら身も入れてまぜ合わせ、器に盛る。好みで黄ゆずの皮などを添える。

Instagramではアレンジメニュー「ほっき貝ご飯のドリア」レシピを公開中!





今回のテーマ **蘋果知事(りんご知事)教育表彰を受ける**

青森県知事 **三村申吾**

昨年暮れの12月7日に、台湾政府から「長期にわたり、台日教育旅行の促進に多大な貢献をした」とのことで感謝状をいただいた。りんごの輸出や観光誘客、産業連携などのジャンルではなく、地道に時間をかけて積み重ねてきた子どもたちの交流事業を台湾政府が高く評価していただいたことに大変感激した。

感謝状の贈呈式典において、15分間のスピーチをお願いしたいとのことで、大変ありがたくうれしい思いで準備を進めていたが、県議会の日程と重なり、台湾での式典出席は断念した。

しかし、スピーチは映像でも良いのご厚遇をいただいたことから、これまでの経緯や交流について、思いの丈をお話させていただいた。以下、その概要を紹介する。

『青森県と台湾との教育旅行の交流を振り返ると、そのきっかけとなったのは、当時、青森中央学院大学大学院生で、現在は現地コーディネーターとして活躍されている台湾出身の黄麗霞(こうれいか)さんからいただいた、農村活性化

対策として台湾から青森県に農家民宿を取り入れた教育旅行を誘致するべきとの提言でした。

記念すべき第1号は、2008年1月の高雄市立陽明国民中学です。この時は、十和田市を訪れ、地元の中学校と交流を行ったほか、雪中大根の収穫や餅つきなどを体験し、農家民宿に宿泊しました。

こうして、台湾と青森の子どもたちの交流が始まり、台湾の、純真でいとおしい子どもたちと触れ合うたびに、大きな感動がありました。そして、ますます台湾の子どもたちが大好きになり、私自身、延べ23校を直接訪問して、改めて青森県の魅力をPRしながら、信頼関係を一つ一つ築き上げてきました。

また、台湾からは、これまで、実に32校に青森県を訪れていただきました。さらに、2021年8月には、青森県教育委員会と台北市政府教育局との間で教育交流協力に関する了解覚書を締結し、教育分野における連携をより一層強化するとともに、国際教育を通じ、グローバルな視点を持ち主体的に行動できる将来を担う人財の育成に取り組んで

います。

教育旅行を通じた交流は、生徒たちがお互いの地域の理解や関心を高めることにより、将来にわたって友好な関係を構築することができます。特に、若い世代は、グローバルな視点や考え方を早くから身につけることができ、世界で活躍できる人財の育成につながることから、教育交流を長期的に継続していくことが重要です。

青森県は、人は青森県にとっての財(たから)であると考えています。台日教育旅行交流は20周年を迎えましたが、このことをさらなる飛躍への通過点として、引き続き、「青森県づくりの基礎は人づくり」という理念の下、30年、50年先を見据え、しっかりと交流に取り組んでいきます。』

私は、子どもたちは、誰にとっても、どのような社会や地域にとっても大切な宝であり、未来への希望であると思っている。

東日本大震災の時に台湾の子どもたちが「日本加油(日本ガンバレ)」の掛け声のもと募金活動に立ってくださった上に、その後台湾を訪問した際に、日本そして青森を心配してくださる温かい言葉を次々と掛けてもらい、感動のあまり、そして明るい未来が拓かれていくことを確信し、涙したことは今でも忘れない。

多謝臺灣(ありがとう台湾)!! 多謝臺灣的孩子们(ありがとう台湾の子どもたち)!!

AOMORI INFORMATION あおもりインフォメーション

企画展「三内丸山遺跡の埋葬」

三内丸山遺跡のお墓について紹介する企画展を開催しています。三内丸山遺跡は大きな集落だったことが分かっていますが、住んでいた人たちはどのように埋葬されたのでしょうか。大人の墓、環状配石墓、子どもの墓の違いや、お墓がどのような場所につくられていたのかなどを紹介します。

【開催期間】3月12日(日)まで

【観覧料】一般/410円、高校生・大学生/200円、中学生以下無料(遺跡を含む常設展の入場料で観覧できます)

詳しくは
三内丸山遺跡センター ☎017-782-9462



環状配石墓

知っていますか?「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

北海道の太平洋沖から東北地方の三陸沖でM(マグニチュード)7.0以上の地震が発生した場合、その後1週間程度、平常時よりも巨大地震(後発地震)の発生に注意する必要があるとして、気象庁が「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発信します。

東日本大震災の折にも、M7.3の地震が発生した2日後に、M9.0の地震が発生しました。注意情報が発信されたら、後発地震の発生に備えて防災対応をとり、迅速に避難ができるよう準備をしましょう。

詳しくは県庁HP
防災危機管理課 ☎017-734-9181
県庁HP 内閣府HP



性犯罪の被害に遭い悩んでいませんか

被害に遭われたあなたは悪くありません。1人で悩み苦しまずに、まずは相談をしてみませんか。

青森県警察本部では、性犯罪の被害に遭われた方やその周囲の方などを対象とした相談電話「性犯罪被害110番」を設置し、皆さまのご相談を受け付けています。性犯罪の被害は、心や体に大きなダメージを受け、簡単に忘れられるものではありません。周囲の人たちの寄り添う心が大切です。

詳しくは
県警察本部刑事部捜査第一課 ☎017-723-4211(代表)

「性犯罪被害110番」
0120-89-7834
はーとさん
全国共通相談電話 #8103
※24時間対応可
※休日・夜間は希望する性別の警察官が不在の場合もあります

消費税のインボイス制度が始まります

今年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式として、インボイス制度が始まります。

事業者の皆さまが適格請求書(インボイス)を発行するためには、税務署への登録申請が必要です。制度開始時からインボイスを交付するためには、原則として令和5年3月31日までに登録申請を行う必要があります。登録申請は、「e-tax」(電子申告)で、自宅のパソコンなどから行うことができますので、ぜひご利用ください。

詳しくは
税務課 ☎017-734-9064
県庁HP 国税庁HP

インボイス制度に関するお問い合わせ先

インボイス
コールセンター
インボイス制度に関する一般的な質問やご相談を受け付けています。
フリーダイヤル
0120-205-553(無料)
9:00~17:00(土日祝除く)



スマートフォン用アプリ「マチイロ」で手軽に **県民だよりあおもり** が読めます!

詳しくは

みなさんと県庁を結ぶ県政インフォメーション

- テレビ ◆RAB「LINK/青森県」(30秒スポット) ◆RAB「大好き、青森県。」(第3日曜日)17:00~17:15(「TVer」で見逃し配信有り)
- ◆ATV「みんなの県庁!」(土)16:55~17:00 ◆ABA「メッセージ」(土)9:30~9:35 [放送時間が変更になることがあります]
- ラジオ ◆RAB「青森県広報タイム」(月)~(木)7:30~7:35 ◆エフエム青森「あおもり・ふあん」(月)~(金)16:55~17:00
- 新聞 ◆東奥日報・デーリー東北・陸奥新報「広報あおもりけん」(毎月1日・16日)
- HP/Twitter ◆県のホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/> ◆青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref)



「TVer」

青森県広報広聴課公式SNSもチェック!

- Facebook 青森県広報広聴課
- Twitter @aomorist
- Instagram @aomorikenmindayori

編集発行 **青森県広報広聴課** 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。この印刷物は520,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.5円です。